

第2回 多摩地域ライブラリアン講座

オンライン開催のお知らせ

主催：NPO 法人共同保存図書館・多摩



1960年代から70年代にかけて公共図書館は大きな変革の時を迎え、“いつでもどこでもだれでも”が使える図書館の実現をめざした図書館運動が始まりました。そのけん引役となったのが多摩地域の図書館でした。

それから半世紀が過ぎ、ICTの進展等によって新たな図書館サービスの展開も必要になってきています。しかし、地域に暮らす市民に対する図書館活動の理念はいささかも変わるものではありません。

今、多摩地域の図書館員としての自負を持ち、基本理念を踏まえながら、新たな取り組みに挑戦していく図書館員が必要になっていきます。

そこで、多摩地域を意識し図書館活動の歴史や理念的背景を踏まえながら、新たな市民サービスに取り組む職員を育てる講座を昨年

度に引き続き企画しました。

NPO法人共同保存図書館・多摩(通称:多摩デポ)は、市民の情報アクセスを保障するために“共同保存図書館の構想”を提案してきました。その根底には多摩地域の図書館活動の理念的な背景や実践的な活動という裏付けがありました。そのことを伝えながら、多摩地域の図書館員を育ていくことも多摩デポの目標に合うことと考えています。

単に過去を振り返るだけでなく、新たな図書館のあり方を共に学び、ディスカッションしていきます。次代を担う図書館員を養成することと同時に、多摩デポがめざす資料保存についても考えていただく講座です。

1 講座の概要

① オンデマンド・コンテンツの視聴、ワークショップでのディスカッション、オンライン講座への参加を通して、多摩地域の図書館活動の歩みを学ぶとともに、新たな図書館のあり方を考え、レポートを作成します。

② 言葉の定義と実施方法

オンデマンド講座	ビデオ動画、PPTに音声や動画を入れたコンテンツによる講座です。 オンデマンド・コンテンツの公開は3か月半程度です。この期間内で、自分の都合のよい時間に視聴し、課題を提出してください。
ワークショップ	数名のグループごとにアドバイザーが付き、ディスカッションをしながら学ぶ場です。 この講座の最終課題である「図書館活動に関する修了レポート」の作成に向け、アドバイスを受けながら各自が企画案を練り上げていきます。初めにワークショップの実施方法に関する説明会を受け、期間中にはグループ毎のディスカッションを2回程度行います。
オンライン講座	ライブ講義・討議を取り入れたリアルタイムの講座です。 2日間設けますので、Zoomでの参加をお願いします。内容は、受講者の紹介、オンデマンド講座で提出された課題に対するサポート、各自の企画案の発表、そしてブレイクアウトルームを使った情報交換会となります。各コマでは、受講生から提出された課題に講師がコメントしたり、質問に答えたりします。

③ ワークショップとオンライン講座はZoomで行います。そのため、受講環境の確保が必要です。

また講座申込はGoogle Formsで行い、受講者へのお知らせやオンデマンド・コンテンツの公開はGoogle Classroomを使います。そのためGoogleアカウント(gmail.com)の取得をお願いします。

2 受講対象者 多摩地域の公共図書館職員及び多摩デポ会員

3 受講定員 12名(4名/グループ)

4 実施日時
オンデマンド・コンテンツの公開 2024年9月5日(木)~12月25日(水) (約3か月半)
ワークショップ説明日 2024年9月中旬 (受講者と調整して決定します)
ワークショップ 講座期間内に受講者の都合に合わせて2回程度行います。
オンライン講座 2025年1月20日(月)、1月27日(月)の2日間

5 受講料 6,000円(振込先の案内は受講決定後にお知らせします)

なお受講者には、一年間、多摩デポのメーリングリストに登録して情報共有ができるようにするとともに、『多摩デポ通信』をお送りします。

6 受講申込及び申込期限

① 当法人のホームページ(<https://www.tamadepo.org/>)または右記QRコードから申し込みフォームにアクセスして、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

② 申し込み後、受付完了の返信メールをお送りします。確認メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

③ 申込期限は8月31日(土)までです。9月5日(木)までに受講の可否をご連絡します。

※申し込みが定員を超えた場合は、受講理由及び活動実績等を勘案し、当法人が受講者を決定させていただきます。



【申し込みフォーム】

7 専用サイトの設定

専用サイト(Google Classroom)を設けます。受講決定後の各種のお知らせ、オンデマンド・コンテンツ、講座テキスト等は、この専用サイトに置きます。随時アクセスして必要な情報をお取りください。

8 修了認定

原則としてオンデマンド講座、オンライン講座のすべての講習を受講し、修了レポートの審査に合格した方に修了証を交付いたします。

今回の講座は、(株)カーリルの協力を得て実施いたします。

<問い合わせ先> NPO 法人共同保存図書館・多摩 講習担当 齊藤・森田
【e-mail】 s-saito.ptt@chiba-kc.ac.jp 【Tel】 070-6560-4573

第2回 多摩地域ライブラリアン講座—カリキュラム

★オンデマンド講座の内容と配信:9月5日(木)から

※オンデマンド講座の課題提出の締め切り:12月15日(日)

講習領域	講習時間	講習形態	講習タイトル	講師
多摩地域公共図書館概論	40分	オンデマンド講座の視聴と課題作成	多摩地域の公共図書館活動の理念とその背景	座間直壯(多摩デポ理事長)
多摩地域公共図書館概論	40分	〃	多摩地域の資料保存に向けた取り組み	堀 渡(多摩デポ理事・事務局長)
図書館概論	40分	〃	図書館サービスの基本理念の再構築	小池信彦(多摩デポ理事)
図書館概論	40分	〃	国立国会図書館のサービス展開とこれからの課題	田中久徳(元国立国会図書館副館長)
図書館概論	40分	〃	専門図書館の活用を考える	結城智里(機械振興協会経済研究所)
地域資料活用論	40分	〃	地域資料のデジタル・アーカイブへの取り組み	保坂一房(たましん地域文化財団歴史資料室)
ICT活用技術論	40分	〃	TAMALASの開発と機械同定の可能性	吉本龍司(カーリル)
ICT活用技術論	40分	〃	DXを見据えたICT活用とその展開	山崎博樹(IRI 知的資源イニシアティブ)
実践力養成	40分	〃	図書館における広報活動の基礎知識(事例紹介を含む)	山崎博樹(前出)
実践力養成	40分	〃	図書館経営の視点から図書館サービスを考える	山重壮一(香美市立図書館統括官・元オーテピア高知図書館企画員)
実践力養成	40分	〃	図書館長が望む図書館員像	浴靖子(東大和市立中央図書館館長)

★ワークショップ:9月中旬に説明会、10月上旬から随時行います

ワークショップは、最終課題である「修了レポート」のテーマを各自が決め、それを練り上げていくことを目的としています。今後の図書館員には仕事の中で自ら企画を立てて実行に移していくことが必要なので、その企画案作成をイメージしたワークショップです。

ワークショップ説明会	9月中旬(日程は、受講者の都合に合わせて決定します) 15:00~17:00	オンライン	ワークショップの進め方のガイダンス (参加必須)	<アドバイザー> 小池信彦(多摩デポ理事) 座間直壯(多摩デポ理事長) 中川恭一(多摩デポ理事) 堀 渡(多摩デポ理事)
ワークショップ	10月上旬以降 期間中に2回程度	オンライン	修了レポートのテーマ設定とブラッシュアップ	〃

★オンライン講座 初日:1月20日(月)午前9時15分開始、午後5時15分終了

講習領域	講習時間	講習形態	講習タイトル	講師
オリエンテーション	9:15~9:50	オンライン	主催者挨拶・受講ガイダンス・受講者紹介	座間直壯/齊藤誠一
オンデマンド講習へのサポート	9:50~10:40	オンライン	課題評価と質疑応答「多摩地域の公共図書館活動の理念とその背景」	コーディネーター座間直壯
休憩 10分				
オンデマンド講習へのサポート	10:50~11:40	オンライン	課題評価と質疑応答「TAMALASの開発と機械同定の可能性」	コーディネーター吉本龍司
休憩 60分				
オンデマンド講習へのサポート	12:40~13:30	オンライン	課題評価と質疑応答「図書館サービスの基本理念の再構築」	コーディネーター小池信彦
休憩 10分				
オンデマンド講習へのサポート	13:40~14:30	オンライン	課題評価と質疑応答「図書館長が望む図書館員像」	コーディネーター浴靖子
オンデマンド講習へのサポート	14:30~15:20	オンライン	課題評価と質疑応答「国立国会図書館のサービス展開とこれからの課題」	コーディネーター田中久徳
休憩 10分				
オンデマンド講習へのサポート	15:30~16:20	オンライン	課題評価と質疑応答「地域資料のデジタル・アーカイブへの取り組み」	コーディネーター保坂一房
意見交換	16:20~17:15	オンライン	ブレイクアウトルームを活用した情報交換	講師全員

★オンライン講座 2日目:1月27日(月)午前9時開始、午後5時終了

講習領域	講習時間	講習形態	講習タイトル	講師
オンデマンド講習へのサポート	9:00~9:50	オンライン	課題評価と質疑応答「DXを見据えたICT活用とその展開」	コーディネーター山崎博樹
オンデマンド講習へのサポート	9:50~10:40	オンライン	課題評価と質疑応答「図書館における広報活動の基礎知識」	コーディネーター山崎博樹
休憩 10分				
オンデマンド講習へのサポート	10:50~11:40	オンライン	課題評価と質疑応答「図書館経営の視点から図書館サービスを考える」	コーディネーター山重壮一
休憩 60分				
オンデマンド講習へのサポート	12:40~13:30	オンライン	課題評価と質疑応答「専門図書館の活用を考える」	コーディネーター結城智里
オンデマンド講習へのサポート	13:30~14:20	オンライン	課題評価と質疑応答「多摩地域の資料保存に向けた取り組み」	コーディネーター堀 渡
休憩 10分				
企画力・発表力養成	14:30~16:30	オンライン	ワークショップでの企画案の発表	齊藤誠一/中川恭一
講座総括・情報交換	16:30~17:00	オンライン	修了レポートの説明・閉講挨拶	齊藤誠一/中川恭一

★その後、提出された修了レポートの審査をへて、リアルな修了式を開催し、懇親会を行います。

※第1回多摩地域ライブラリアン講座修了者の感想から

「たくさんの講義を受講させていただき、大変ありがたかった。講義も資料も充実していた」「Google Classroomの利用は初めてだったが、事務局のフォローで戸惑うことはなかった」「受講料が少額にもかかわらず、充実した内容で、先生方のフォローも適切だった」「勉強になることも多く、参加してよかった」「ぜひ2回、3回と続けてほしい」・・・